

○普及上参考となる技術

[タイトル] 赤ネットによるアザミウマ類の侵入抑制効果

[要約] 園芸ハウスの側面被覆において、0.8mm 赤ネットは 0.4mm 白ネットと同等にアザミウマ類の侵入を抑制する。また、露地白ネギにおいても、0.8mm 赤ネットは 0.8mm 白ネットと比較して抑制効果が高い。

[キーワード] 赤ネット、ハウス側面、白ネギ、アザミウマ類

[担当場所・課] 農林水産総合技術センター・農業研究所・病理昆虫課

[連絡先] 電話 076-429-5249

[背景・ねらい]

薬剤抵抗性の発達が顕在化しているアザミウマ類に対して、ネットによる被覆は有効な防除手段であるが、その目合が小さいと通気性の低下により被覆内部の温度や湿度上昇など作物の生育に悪影響を及ぼすだけでなく作業環境の悪化を招く。そこで、通常目合で色彩作用により侵入抑制効果があるとされる赤ネットについてアザミウマ類に対する防除効果を検討する。

[成果の内容・特徴]

- 1 園芸ハウスの側面に張った通常目合 0.8mm の赤ネット（商品名：サンサンネット e-レッド）は、微細目合 0.4mm の白ネットと同等にアザミウマ類の誘殺数が少なく、侵入抑制効果がある（図 1）。
- 2 露地白ネギにおいて、通常目合 0.8mm の赤ネットは通常目合 0.8mm の白ネットと比較してネギアザミウマの寄生数および被害が少なく、無被覆と比較して抑制効果が高い（図 2）。
また、1 カ月間被覆しても白ネギの草丈に差は無く、生育への影響は認められない（図 3）。

[成果の活用面・留意点]

- 1 ハウス側面および開口部の展張により、外部からのアザミウマ類侵入抑制対策に活用できる。
- 2 露地の野菜類被覆栽培におけるアザミウマ類侵入抑制対策に活用できる。
- 3 通常目合 0.8mm の赤ネットを導入することにより、微細目合 0.4mm の白ネットと比較して、資材費を 38%削減できる（表）。

[具体的データ]

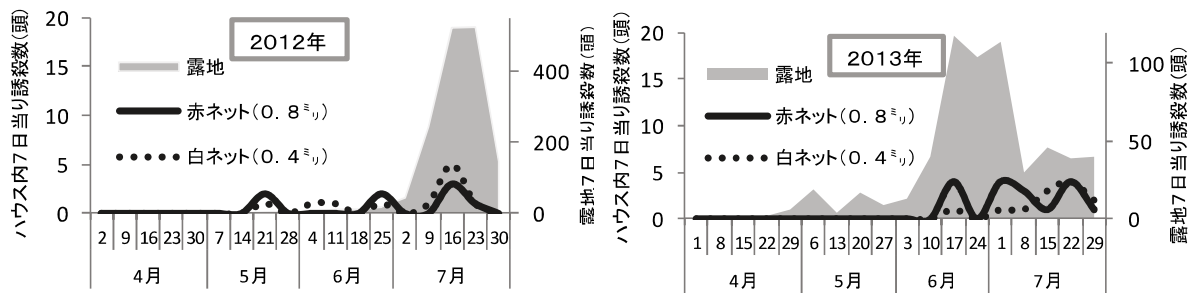


図1 赤ネットのハウス側面張りによるアザミウマ類侵入抑制効果

栽培作物はトマト、防除は定植時のオルトラン粒剤（2g/株）のみ
ハウス内および露地の誘殺数は青色粘着トラップ（ホリバー）による両面2カ所平均
誘殺されたアザミウマの主要種はヒラズハナアザミウマ、ネギアザミウマ

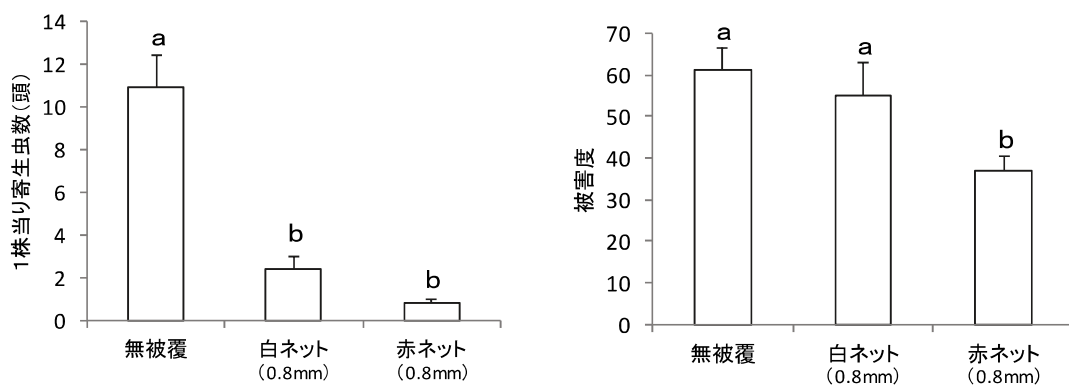


図2 露地白ネギの赤ネット被覆によるネギアザミウマ侵入抑制効果

被覆期間は6月14日～7月12日の28日間
被覆前日にトクチオン乳剤1,000倍液1L/10a散布
寄生虫数は成虫数の合計、被害度は国が定めている病害虫発生予察調査基準により算出し、被害程度により0～100で表す
縦線は標準誤差
図中の異なる英小文字間にはTukey法の多重比較により有意差があることを示す（ $P < 0.05$ ）

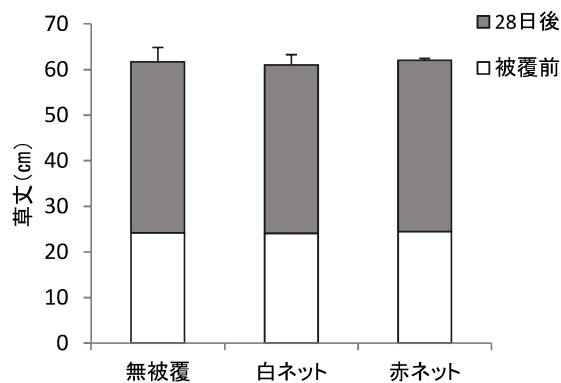


図3 各処理間における白ネギの草丈

縦線は標準誤差

表 0.4mm白ネットを100とした場合の単価比率(%)

種類	0.4mm白ネットを100とした場合の単価比率(%)	
	0.8mm	0.4mm
赤ネット	62	—
白ネット	57	100

[その他]

研究課題名：アザミウマ類の発生動態の解明によるウイルス感染拡大防止技術の開発
予算区分：県単（病害虫発生予察および防除対策試験）
研究期間：2013年度（2011～2013年度）
研究担当者：青山政義、西島裕恵
発表論文等：なし